



野 総 第 4 3 号  
平成 19 年 5 月 1 日

国土交通省道路局長 様

野田村長 小 田 祐 士



中期的な計画の作成にあたっての意見の提出について  
平成 19 年 4 月 2 日付け国道企第 114 号により依頼のありました標記について、  
別添のとおり意見を申し述べますので、よろしくお取り計らい願います。

担当：総務課

企画調整班 中村

電話：0194-78-2111 (内) 115

## 岩手県 野田村

本県は、四国4県に匹敵する広大な面積を有し、7割を占める北上高地が南北に広がり、沿岸部と内陸部を山々が隔てております。

県北沿岸に位置する本村にとっては、県庁所在地の盛岡市まで、公共交通機関を利用すると、約3時間を要し、また、特例市である青森県八戸市までは、約2時間を要します。時間的な要素と公共交通機関の便数、交通アクセスの関係上、通常は自家用車を利用することが一般的となっております。

自動車を利用すると、盛岡市まで約2時間40分を要し、東京・盛岡間とほぼ同様の時間を必要とします。

この現実が重くのしかかり、行政を執行する場合に多方面に悪影響を及ぼしております。

安心・安全の観点から言えば、

- 狭隘部分や急カーブが多く、また歩道部分も未整備部分が多数みられます。
- 土砂崩れや災害時に迂回路がなく、孤立する心配があります。
- 高度医療が必要な緊急時には、生命を危険にさらす恐れがあります。

高速交通ネットワークの観点から言えば

- 運送に長時間を要するなど、コストがかかり企業進出が望めない現状にあります。
- 公共交通機関が少なく、道路が有効な交通手段であるにも関わらず、アクセス環境が悪すぎます。

道路整備は大都市及びその近郊では終了したかもしれませんが、地方にいたってはまだまだ切実な問題であり、このままではますます地域間格差が拡大し、県北沿岸は陸の孤島となる恐れがあります。

以上の観点から、県北沿岸地域の重点化を図っていただきたく、国道45号の改良整備や久慈八戸自動車道、三陸縦貫道の早期完成を望むもので、これらの現状を背景に、次のような意見を申し述べます。

重点化を進める上で特に優先度の高い政策についての意見

- 交通不便地の重点的な整備
- 地域活性化や物流のための交通拠点を結ぶ道路の整備
- 日常の暮らしを支える生活幹線道路の整備
- 交通事故対策（通学路を主とした歩道の設置等）
- 災害時に備えた迂回路等の整備

効率化を徹底的に進める上で重視すべきこと

- 地域にあった規格にするなど、建設コストを抑える